

東京第一ホテル魚津の空調運用システム
空気調和・衛生工学会第 11 回技術振興賞受賞

-北陸地域から初めての受賞-

平成 9 年 6 月 6 日
北陸電力株式会社

東京第一ホテル魚津の空調運用システム
空気調和・衛生工学会第 11 回技術振興賞受賞

-北陸地域から初めての受賞-

このほど、当社が計画・解析を担当した「東京第一ホテル魚津の空調運用システム」が、社団法人空気調和・衛生工学会の第 11 回振興賞において「技術振興賞」を受賞しました。

この制度は、空気調和・衛生工学と工業の振興と発展および新進の研究者・技術者を育成することを目的に、会員の技術に関する業績に対して賞を贈り表彰するもので、北陸地域からの受賞は初めてとなります。

なお、表彰式は、平成 9 年 6 月 6 日(金)に福井ワシントンホテル(福井市)で開催された同学会北信越支部の通常総会の席上で行われまし

た。概要については下記のとおりです。

記

1. 「東京第一ホテル魚津の空調運用システム」について

計画・設計: 北陸電力株式会社

計画・測定: 東京第一ホテル魚津(魚津市)

施工: ユウホー設備株式会社(魚津市)

運用ソフト開発: テクノ・インテグレーション株式会社(魚津市)

2. 受賞のポイント

- ・ 従来、ホテル等の 24 時間営業の施設には不向きといわれていた、「蓄熱空調システム」を改善し、効率的な運転を可能にしました。
- ・ これによって、省エネルギーを推進し、空調のランニングコスト低減に寄与したことが、受賞に当たって評価されました。

[改善点]

- ・ 蓄熱槽を二系統に分割し、蓄熱と出熱が重ならないように交互に使用することで、有効蓄熱量の増加を図りました。
- ・ 出力制御の方法を改善し、ヒートポンプが高効率状態で運転するよういたしました。

- ・ 水蓄熱槽内の蓄熱量を把握し、今後の熱需要量を予測する、経済的
運転プログラムを開発しました。

これらの改善により、電力使用量の約20%減少と、電気料金の半減
(使用電力が昼間時間帯から割安な夜間時間帯に移行したため)を達成
することができました。

3. 参考

社団法人空気調和・衛生工学会

- ・ 設 立: 大正6年(1917年)7月
- ・ 会 長: 松尾 陽 (明治大学教授)
- ・ 会員数: 平成8年12月末 20,900名

東京第一ホテル魚津

- ・ 所在地: 魚津市吉島 1-1-20
- ・ 竣 工: 平成4年8月
- ・ 延床面積: 9,742 平方メートル

以上